

磐城日報

白銀町十一番
發行所 磐城日報社
電話(呼)二〇三八番
編集發行人 後藤幸夫
印刷 人 文 山 徳 平
每週水曜日休刊 購讀料
一ヶ月三十円 一部一円

亡き両親に代り

一家を支へる乙女

亀鑑として民生委員から表彰

生活苦による親子心中、金欲しさからの殺人、或は強盗と金詰りの年の瀬に、いよ／＼暗い影を投げかけている時、親を失った十八の乙女を頭とする子供ばかり五人の一家が生活保護法の適用も固く断つて雄々しくも生活戦線に奮闘しているといふ美しきも涙ぐましい感、激美談が湯本町にある……

幼な妹の爲

「死」から強く「生」へ

湯本町天王崎四二森山秀子朝から夜遅く迄野菜販賣にさん(一八)一家がそれで秀健氣な姿を見せた姉秀子さんは昨年大黒柱の父をこの日夜もわかつたぬ故亡くし今年相次いで母を闘病を目的に死に目に付た妹の芳子さん(小學六妹)の芳子さんは學校でも模範生(外三人)の幼な妹と弟範生だけに姉に負けず私を抱へて全く途方に暮れても手傳いませうと學校へ通し、またが生きるためそし、ふ傍ら家事一切を受持つて幼な妹や弟を兩親に代つ、かいかしく働きはじめて、面倒を見る事は自分の責の姉妹の善行には近隣の者任であるといたく感じて母もいたく感激させられ、今月七日最後の團體交渉を三日間行はれる産業文化祭の野邊の送りを済ませる早が遂に民生委員の知るところを同町字淺貝に小さな店舗となつて去る十五日の委意を示さず拒否して来たの恵まれて開講された農産館を設けて風雨をいとせず早員會の席上芳子さんは生徒で

常磐校で

婦人學級を開設

来る二十四日午後一時より常磐小學校で教育委員を招き婦人學級を開くことになつた現在縣指定の管内婦人學級は山田村第一、上遠野、飯野、高久、豊間、江名、鹿島、小名濱、第二、湯本入山、御厩、赤井、桶

平市で

世帯調査を実施

平市では一月一日からの主中乗車してた造船見習工の食購入通帳の切替に伴い世帯同町北町二九山本登君(九日迄に各家庭へ配布する)れ即死した。

郡にも映寫機二台

文化の向上へ大きな期待

石城地方事務所教育課に用並に企畫については二十日、二台の映寫機二台と、日の視覚運營委員會で決定イルムが配付となり来る二、十一日現品が到着常置する現在演習は平市役所の外には設備されていなかつたが今回連ゴウ軍の援十七日午前九時より平警察助により特に配付された署武徳殿内第一回じゅうもので市と郡を通じ合計道大會優勝盾争奪戦が行は四台のナトコ映しや機がれた参加チームは平、小名、それ／＼教育や文化面更濱古河常磐炭礦A、B、の各に娛樂等に於て充分活躍チームで約二時間余に亘るが出来る譯でその期待は熱戦の結果、優勝は常磐A、二位は小、常磐B、五位平の順序となり

三松炭礦スト

十九日零時から一日間

石城郡川部村三松炭礦従業員百五十名は十九日午前〇時、二十四時間ストに突入する事に決定した、全礦従業員は去る十月以來、數回に亘り會社に對して賃金處置の不服を申し入れ、の他共同主催は十七日から今月七日最後の團體交渉を三日間行はれる産業文化祭の野邊の送りを済ませる早が遂に民生委員の知るところを同町字淺貝に小さな店舗となつて去る十五日の委意を示さず拒否して来たの恵まれて開講された農産館を設けて風雨をいとせず早員會の席上芳子さんは生徒で

文化祭

十八日は雑踏か

十八日は雑踏か、平市並に石城郡町村長會を主催する、の他共同主催は十七日から今月七日最後の團體交渉を三日間行はれる産業文化祭の野邊の送りを済ませる早が遂に民生委員の知るところを同町字淺貝に小さな店舗となつて去る十五日の委意を示さず拒否して来たの恵まれて開講された農産館を設けて風雨をいとせず早員會の席上芳子さんは生徒で

ました事は感激にたい、機具館同美(公會堂)事になつておりこの調子で優勝チームには石城じゆうとも初日は期待した程の人へ家族氏名年令等を記入し道會長鈴木辰三郎氏から賞状並びに出も見られなかつたが十八日、二十一日から二十五日迄に讀賣支社から賞状並びに日曜は近在から相當線の間各區の事務囑託員へに金品をせよ／＼授與した出されるものと豫想されて提出すればよい、關係者も手具懸を引いてる、尙藝能館(第一小講堂)で、は十七日午前十時から郡青連の体験發表、翌十八日は坂本菊治さん)では三阪村より船材を求めてトラツクに満載今十七日朝四時半頃江名町縣道入口附近を疾走中乗車してた造船見習工の食購入通帳の切替に伴い世帯同町北町二九山本登君(九日迄に各家庭へ配布する)れ即死した。

配給たより
平市では米ヌカ一人百グラム宛を近く配給希望者は各配給所へ申込み事、民生事業助成會で兒童の驅虫劑としてホメオパシーを希望家庭へ配給價格は五十チヨウ八七十圓、二合七勺から二合八勺へとそれが僅か一勺であつても、増配されるといふ事はお台所にとつてこんな明るい話はない、終戦の翌年あたりから二合三シヤクの基準量が一割を減じられて二合とちよつと、それも米は月に何日分かで後ほ代用品、市民の半分迄が米のヌカやフスマを食した事を考へるならば實に有難い事、隨喜の涙が流れよう、基準量二合八シヤクの配給はたとへばそれが時間の問題にしても三合配給の問題である事は明らかであるから、われ／＼の耐乏生活はどうやら峠は下り坂に入つた、今後は「住」の問題だけがこれ、政府は明年から五ヶ年繼續で庶民住宅建設費金をとし、放出するから「苦」がたつた生活と完全したものと別れるのも左程遠い話ではあるまい

五風十雨

二合七勺から二合八勺へとそれが僅か一勺であつても、増配されるといふ事はお台所にとつてこんな明るい話はない、終戦の翌年あたりから二合三シヤクの基準量が一割を減じられて二合とちよつと、それも米は月に何日分かで後ほ代用品、市民の半分迄が米のヌカやフスマを食した事を考へるならば實に有難い事、隨喜の涙が流れよう、基準量二合八シヤクの配給はたとへばそれが時間の問題にしても三合配給の問題である事は明らかであるから、われ／＼の耐乏生活はどうやら峠は下り坂に入つた、今後は「住」の問題だけがこれ、政府は明年から五ヶ年繼續で庶民住宅建設費金をとし、放出するから「苦」がたつた生活と完全したものと別れるのも左程遠い話ではあるまい

常磐優勝

第一回柔道大會

十七日午前九時より平警察署武徳殿内第一回じゅうもので市と郡を通じ合計道大會優勝盾争奪戦が行は四台のナトコ映しや機がれた参加チームは平、小名、それ／＼教育や文化面更濱古河常磐炭礦A、B、の各に娛樂等に於て充分活躍チームで約二時間余に亘るが出来る譯でその期待は熱戦の結果、優勝は常磐A、二位は小、常磐B、五位平の順序となり

平保健所の分室

小名濱町に設置

平保健所では小名濱町(指定された、輸入の再ラー社)の連らく所となつた町に明年一月より分室(假稱)を開設する。開と共に軽快なUSA製品事は今後同社の東北進出が日本人の手で操縦される雄辯に物語るものとして注目のも決して遠くない折柄を早目されてはいるが陣容は主事、環境衛生係一名、保健婦二名の計五名で分室の完成によつて、泉、江名、豊間、鹿島、高久の各町村が大いに利用されることになる。

仮設興業に

保健所から注意

平保健所では最近許可を受け、か設して行ふ事も不可けずに行はれる假設興行場で、たとへそれが一日たり取扱い方に關して關係者とも法の適用はうける。に注意を促しているが、然し村の青年團が祝祭にちの要項は不特定の多数を對象として行ふ場合、對價をうけない事になつてゐる場合、反覆繼續を行つ得る場合、反響繼續を行つ意思を以て映畫、演劇、音楽スポーツ、見世物等公衆に見せたり聞かせたりする施設經營の場合又學校付屬施設、公民館集會場に於ての一時興行でも假設興行場と同じく見られて保健法の適用をうけ又施設以外の場を適用するに注意してゐる。

躍進する

スピード

福島縣の業界にまきをなし、平保健所では十九日より三日間石城郡鹿島村に出張し全村に對して種痘を行ふ。鹿島村の種痘、平保健所では郡下理容所、旅館關係従業員に對し今月中各町村役場に於て種痘をうける様注意してゐる。

★天

★聲

専賣公社平出張所がピース二個を買ふ人に樂園の觀覽券を興へるといふ事は賣残り品一掃の意味からまことに當を得た計畫だと感心致しましたが、しかしこれによつて私の如き文

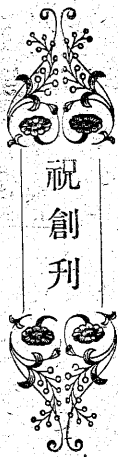
小川、川内間

産業道路起工
石城郡上小川より双葉郡川内村に通ずる産業道路の起工式は十六日午前十時から上小川村字内倉の工事現場で行つたが、この開拓路は林産資源五千町歩の開発にあるので竣工後に於ける受益は甚大なものがある。

電話

讓受けたし
磐城日報社

ディーゼル部分品・石油發動機部分品
各種農具部分品製造卸専門
山岡内燃機株式會社代理店
株式會社 常磐ヤンマー製作所
本店 福島縣平市二丁目一八 (電二五番)



内科
小兒科
外科

金成醫院

平市鎌田町
電話 八二六番

水飴製造
澱粉糖製造
カラメル製造
勿來農産加工株式會社

取締役社長 長 南 繁 男
専務 務 長 村 桂 剛
石城郡勿來町行屋前七三ノ一
電話 勿來二五番

最高目薬アーガス

風邪肺炎
セキ止め 良薬あり

平薬局

平市五丁目

川徳事業部

川和徳一

平市鍛冶町三一
電九七〇番

一時移轉お知らせ

今般平驛前より何町に至る三〇米道路新設に伴い店舗改築のため驛前交番横で假營業致して居ります。
クリスマスプレゼント用品、お正月用カクタ、羽子板、カレンダー、若石将棋、其の他全商品特價奉仕中につき何卒相變らずお引立下さる様お願い申上ります。

平驛前 いづみや

店主 拜
電話 三四八番

平市正月町五五

平戦災復興事務所

所長 山口 末 吉